

2 発行:学年係 福水貴浩

トロイやべを受け入れて下された事業所の方が回答して下さったアンケート結果です。

期間中、みなでんがしつからじ頑張つて下されたことびがうかがえます。また、東中生として自覚を持った行動を心掛け下されたこともうかがえました。

1回目で前回より頑張つて下せました。

1回目から2回目経験しました。

積極的に活動つていれました。あつがいに

れました。

中学生の時にトロイやべをして職業体験を下して頂いておりましたが、高校生になるとバイトの禁止をつけておられた学校が多かったせいかく中学生の時のトロイやべの前回もやが勿体ないと思つます。



の参加に入れました。他の生徒さんも、園児に優しく接するところが印象的でした。

「ロナ禍で久しぶりのトロイやべでしたが、開催して下さって感謝です!」

地域の生徒と深く交流が出来て良かったです。

教員の訪問は、作業の中止となり、対応は受け入れ側の負担となります。生徒の安全を助長する」とあるので、極力避けたいなと思いました。

始まりた時より受け入れる事業所の数も減り、生徒たちの希望する所にもこなせず、一度トロイやべワークを見直してはじめいかと思っています。

生徒の方に意欲的な姿勢が見られ受け入れる側としても充実した期間となりました。ありがとうございました。小宅君及び学校職員の皆様のこれまでの活躍を祈念しております。

活動につづいては、隠れましの後も協力して下されたこと思ひ。隠れの轟びや迷惑者の隠れなど大きいくらいになつてよかったです。

生徒が書いて下るノートを事業所として下されたのが分かりにくかったので、その指導だけ生徒につけておいたただかるとあつがたい。

保育所ではの歳児から歳児クラスにローテー

ションで入って保育補助をしてもらひた。風寢の時に園児を寝かしつけることで達成感を味わう生徒もいた。園児にとどけても特別な存在で喜んで登所していく保育所、中学生がいるところでは貴重な経験となつた。

生徒たちも初めての体験で有意義でおつて欲しい、これから日本を支え、1人の青年になつて欲しいと素直に思つます。

また、受け入れ先としての大人にも楽しにして下さり、沢山あります。

大人の私達に見せる表情や接し方など、子ども達に見せる表情や接し方の違いに驚かされた。

大人には緊張からか表情もかたかつたが、子ども達とふれあう中学生の姿は笑顔に満ち溢れてとても楽しそうだった。

3年ぶりに再開されました。生徒としては学校内では学べないことに触れることが機会ではないかと思ひます。

えりだといふをやめただけでなく、わいと積極的に取り組むなどやりこなしたと思つます。

この間あつがいを感じました。朝のあつがい、もう少し元気よくやれることは思つたのがありました。